

外観の良いブドウ「シャインマスカット」生産のための 花穂整形・摘粒方法

みんなで進めよう
茨城農業改革

農業総合センター園芸研究所

ブドウ「シャインマスカット」は、開花始めに花穂を3.5～4cmに整形します。満開15日後頃に穂軸を9.5～10cmに調整、上部支梗に4～5粒、中～下部支梗に2～3粒配置し、45～50粒にすると外観の良い房をつくることができます。

花穂先端部を利用する

外観の良い房を生産するためには、開花始めに花穂の先端を3.5～4cm残して整形します(図1)。

着粒決定後に穂軸長を調整する際も、果房先端部の着粒数が少なかったり、形が悪かったりする場合を除き、できるだけ房の先端部を利用するようにします。

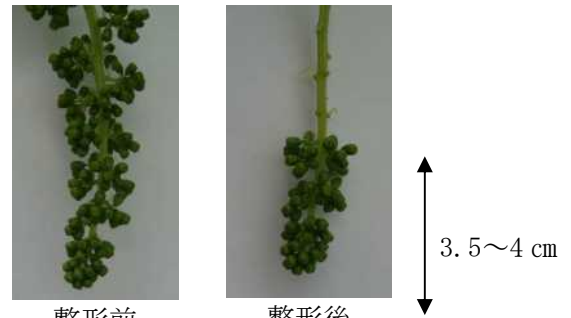


図1 花穂整形の様子

着粒後に穂軸を9.5～10cmに整形

花穂を3.5～4cmに整形した後、着粒が確認できる満開15日後頃に穂軸を9.5～10cmに整形すると、支梗数は13～19段(平均15段)となります。この時期を過ぎると穂軸の伸長はほとんどなくなり、収穫時の穂軸長は10.5cm程度になります。

花穂整形が長すぎると、穂軸の曲がり(図2中央)や花振り(図2右)が発生しやすくなるので注意が必要です。



図2 花穂整形の違いと果房(満開15日後)

一粒重15g・房重700gを目標に

一粒重は樹齢や樹勢、栽培方法により異なり、果房重は一粒重や粒数の影響を受けます。一粒重15g、房重700g程度の果房を目指す際は、収穫時の穂軸長が10.5cm程度とし、45～50粒に摘粒すると、隙間なく果粒の並んだ房になります(図3)。

支梗長が長い房の場合には、穂軸長を短めに調整すると粒の並びが整います。

また、支梗数は房によって差が大きいので、支梗数が少ない場合には1支梗当たりの粒数を多くして房の粒数を確保します。

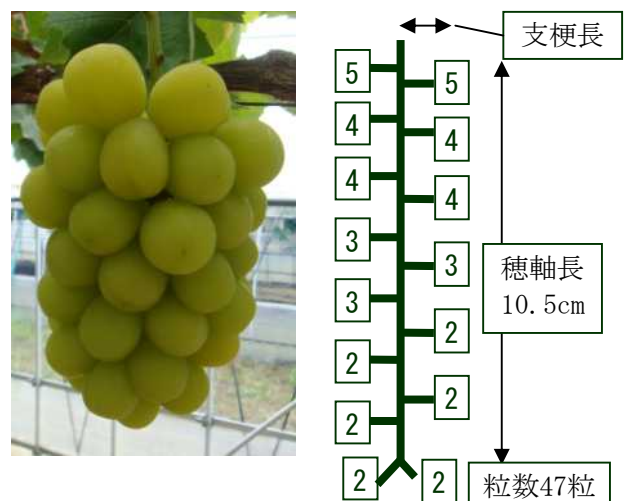


図3 「シャインマスカット」高品質果実の摘粒例